



基礎から教えるマイホーム

絶対得する業界の常識

↑ vol.72

東京外かく環状道路(三郷南IC、高谷JCT)開通について

ご存知の方も多いと思いますが、平成30年6月2日(土)に「東京外かく環状道路」(以降は外環道と略します)の三郷南IC、高谷JCT間が開通しました。

この新しい道路の開通で、今後、松戸やその周辺がどのように変わっていくのか、湯浅社長にお話を伺いました。

■半世紀越しの実現

今回開通した外環道の建設計画が策定されたのは1969年だそうです。開通日の6月2日に行われた式典には、湯浅社長も地域の建設業協会長として参加されました。

「私が生まれたころ発足した計画の開通式典に参加できたことは、うれしい限りです。今回の開通により、これまで以上に松戸と都心が身近になった印象があります。今後の松戸の経済や地域の発展に、今の私たち建設業界が担う役割はたくさんあります。開通したことに満足せず、松戸の価値向上に今後も邁進していきます。」と話してくれました。

■開通後の主なメリット

これまで三郷で止まっていた外環道が湾岸エリアの市川市高谷まで伸びたことで、以下のようなメリットが期待されています。

●都心の交通円滑化による物流生産性の向上

東関東道・常磐道・東北道・関越道の4つの放射道路に接続され、千葉の湾岸エリアから関東各地(埼玉・栃木・群馬)に、都心を通ることなくアクセス可能になります。これにより物流の生産性が向上します。



●地域の渋滞緩和による生活道路の安全性向上
開通により生活道路の渋滞が緩和され、通学路をはじめとした生活道路への迂回進入が減少し、安全性の向上に期待できます。

●関東各地・湾岸エリアの広域的な観光経済の向上
テーマパークや大型ショッピングセンターなどが集まる湾岸地域をはじめ、各地に点在する観光施設へのアクセス向上や経路の選択肢増加に伴う移動所要時間の短縮に期待ができます。

「いずれも松戸の発展に影響を及ぼすものも多く、今後の松戸がどう変わっていくか楽しみです。私たちも業界に携わる者として、今後も尽力していきたいです」と湯浅社長。

湯浅建設さんによる

今月竣工の工事 コロナ技研本社ビル新築工事



鎌ヶ谷市から印西市までの約20kmを結ぶ北千葉道路ですが、現在、印西市から成田市までの延長工事を行っており、今年中に開通予定です。

●将来的には北千葉道路との接続も
この北千葉道路も鎌ヶ谷から今回開通した外環道の北千葉JCT(仮称)※松戸ICと市川北ICの区間に建設予定)をつなげる検討がなされています。

「まだ公式には事業化決定はなされてはいませんが、すでに環境アセスメント(環境影響評価)の実施が決定しております。この段階まで進んでいるので、計画が破綻となることは考えられません。外環道と成田が1本つながることになり、羽田と成田への移動もこれまで以上に短縮されます。千葉県はもちろん、国全体にも大きく影響を与える事業です」と湯浅社長。

松戸市民として1本の道路の開通が及ぼす影響をこれから体感できると思うとワクワクしますね。今回ようやく松戸・市川まで外環道が延長されましたが、隣の三郷市までは1994年に開通していました。それに遅れることおよそ24年後の開通となったわけです。その理由を、当時の松戸市と市川市の議会がこの計画を反対していたことが要因の一つ。対して三郷市は議会が計画を推し進めていましたと湯浅社長。

先に記載した北千葉道路との接続の件も、市民の方が早く道路を通そうという声をあげることも必要ではないでしょうか。「みんなの街はみんなで作る」のだと思います。

【取材協力】株式会社湯浅建設 湯浅健司社長

完全注文住宅建築事例

地域に根差した総合建設業を目指して創業60年

一貫誠実

株式会社湯浅建設

千葉県知事 登録 第1-1203-7620号 / 千葉県知事許可(特-22)第1298号

湯浅建設 検索

月刊ハロー！取材記事のバックナンバーも掲載中！

見積無料!
お気軽にお問い合わせ下さい!

TEL.047-387-2281(代表)

〒270-2253 千葉県松戸市日暮5-25
http://www.yuasakensetu.co.jp/

リフォーム事例

Before

After

CONSTRUCTION